

『「都道府県水道ビジョン」策定の手引き』と長野県水道ビジョン（案）の対応関係

「都道府県水道ビジョン」作成の手引き（抜粋）	長野県水道ビジョンの構成
<p>1 都道府県水道ビジョンの趣旨 水道の現況と方向性を概観で示し、策定の必要性について記述する。 対象地域、計画目標年度及び計画期間を記述する。</p>	<p>1 はじめに (1) 策定の趣旨 (2) 関連計画 (3) 目標年度</p>
<p>2 一般概況 県全域及び圏域毎に、地勢、人口、産業、水資源等の水道を取り巻く諸条件の概況を記述する。</p>	<p>2 一般概況 (1) 地勢 (2) 人口 (3) 産業 (4) 水資源</p>
<p>3 水道の現況 県全域及び圏域毎に、水道の普及状況施設数、水道の管理体制、水源の状況、簡易専用水道等の管理状況、経年化・耐震化の状況、水道料金、広域連携に向けた取組状況について記述する。 また、県内の水道事業者等の水道事業ビジョンの策定状況やアセットマネジメントの実施状況、水安全計画の策定状況、耐震化計画の策定状況等について取りまとめる。</p>	<p>3 圏域区分の設定</p> <p>4 水道の現状と課題 (1) 水道の現状 ア 概況 イ 水質管理 ウ 施設管理 エ 運営・経営管理 (2) 将来の事業環境 ア 人口減少による事業規模の縮小 イ 施設老朽化の進行 ウ 災害リスクの高まり エ 将来に向けた備え (3) 課題</p>
<p>4 圏域区分の設定 水道事業を適切に運営していくため地理的社会的諸条件等の一体性に配慮しつつ、県の全ての地域が、いずれかの圏域に含まれるように設定し、その根拠となった考え方を記述する。</p>	
<p>5 給水量の実績と水需給の見通し 都道府県及び圏域毎の給水実績及び需要と供給の見通しを整理する。</p>	
<p>6 現状分析と評価、課題の抽出 水道の現況、水需給の見通しを踏まえ、現況を評価し、「安全」「強靱」「持続」毎に圏域毎の課題を明らかにする。</p>	
<p>7 将来の目標設定とその実現方策 ・都道府県全域について、将来に向けた水道の理想像を設定 ・理想像を踏まえ、実現方策を検討 ・都道府県又は圏域毎に実施方策の推進に係る目標を設定 ・発展的広域化の取組推進の具体策を記載</p>	<p>5 県内水道が目指す方向性とその実現方策 (1) 基本理念 (2) 基本方針と目標 (3) 具体的施策の実施計画 (4) 圏域における広域連携の方向性 (5) 推進体制（県、事業者、その他関係者の役割）</p>
<p>8 都道府県水道ビジョン策定のための体制及び策定後のフォローアップ ・実施体制と進捗管理</p>	<p>6 フォローアップ 目標値の達成度の進捗管理（毎年） 中間年度に進捗状況等を踏まえ必要に応じて見直し</p>